

(3) 地域密着型金融推進計画の進捗状況について

平成15年4月以降2回にわたるアクションプログラム、これを引き継いだ平成19年8月改正の中小企業地域金融機関向け監督指針、および平成22年12月24日公表の「金融資本市場及び金融産業の活性化等のためのアクションプラン」に沿った地域密着金融の取組みとして、下記を実施しました。

記

1. コンサルティング機能を発揮して顧客企業のライフステージに応じた経営改善支援に取り組みました。

- (1) 要注意先債権等の健全化については、11先を選定し、取引先企業の課題解決等経営改善に取り組みました。
- (2) 役員が大口与信先を四半期毎に訪問、営業店長が要管理先・破綻懸念先と面談、渉外係が与信先を定期的に訪問、取引先企業の実態を把握し資金ニーズに迅速的確に応えることで資金繰りの円滑化や業況の変化を早期に把握する等不良債権発生防止に取り組みました。
- (3) 行政や経済団体と連携し、路地裏に横たわる課題解決に果敢に挑戦し持続可能な地域社会へ貢献するため「地域貢献課」を新設（令和3年4月）しました。
- (4) 法人の課題解決支援として「ソリューション担当」を、また事業所および個人のライフサイクル支援として「コンシェルジュ」を配置し、お客様に寄り添ったご提案などコンサルティング機能の強化を図りました。
- (5) 全営業店に金融相談窓口を設置し、課題解決・返済条件緩和等により積極的に中小企業の再生支援へ取り組みました。令和3年度の返済条件の緩和先は19先、42件、1,663百万円となる等、迅速的確な資金繰りの円滑化に対応致しました。
- (6) 取引事業所及び地域事業所の経営課題解決の取組みとして、平成28年7月「えひめビジネスサポートネットワーク」のえひめ産業振興財団「チームえびす」の支援拠点となり、令和3年度は取引事業所8先へ専門家派遣を通じて連携し支援を行い、開始当初から延べ79先の取引事業所の支援に取り組みました。
- (7) 地域の創業者等を支援するため、新居浜市・西条市の創業支援事業計画において平成28年12月「特定創業支援事業」として位置付けられたことから、全営業店に「創業支援窓口」を設置しており、地域関係機関とワンストップで一貫したサポート体制を整備し、創業支援に取り組んでおります。

この間、「基礎から学ぶ実践経営塾」（全6回、各回20名参加）、特定創業支援事業「起業・創業勉強会」（年間4回、延べ19名参加）、顧客事業者向けの「SDGs 経営勉強会」（5名参加）、「事業承継相談会」（年間9回、延べ27名参加）を開催しました。

2. 地域の面的再生への積極的な参画として、地域経済全体の活性化を図るため顧客企業の事業継続及び拡大に取り組みました。

- (1) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者へ、実質無利子・無担保の「新型コロナウイルス感染症対策資金（災害関連対策資金）」並びに県の制度融資「新事業創出支援資金」「小口零細企業資金」の提供を実施しました。

- (2) 事業所の従業員等の福利厚生を目的に「とうしん職域サポートローン」「とうしん職域フリーローン」を積極的に推進しました。
- (3) 補助金・助成金制度活用支援を実施しました。
- (4) 商工会議所、東予産業創造センター、愛テクフォーラム、地公体（「チームえびす」「愛媛県事業承継・引継ぎ支援センター」）、金融機関等「産・学・官・金」の連携を強化しました。

前記（１）～（４）の取組みの成果として、令和３年度の融資実行は、保証協会保証付融資が８０件 ３０６百万円、クレディセゾン保証付融資（自由生活・仕事生活）が５６件 ４９百万円、職域サポートローン・職域フリーローンが１９件 ２２百万円、オリックスクレジット保証付融資（プラチナ）が４３件 ５３百万円、とうしんビジネスカードローンの実績が３０件 ６１百万円、補助金助成金制度を活用した融資実行が３件 ３２百万円となり、中小企業等の資金繰りの円滑化に貢献できました。

また、成長分野融資６件 ２７７百万円、創業融資７件 ２３百万円、協調融資３件 １８３百万円を取組みました。

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信として、地域活性化に繋がる多様なサービスの提供に取組みました。

- (1) 地域社会への貢献・還元として、下記の金利優遇定期預金を販売しました。

（単位：口数、百万円）

商品名		地域応援定期預金	退職金専用定期預金「ゆうゆうライフ」	相続専用定期預金「想い」
成果	口数	2, 8 2 9	1 0	1 4 0
	金額	5, 5 9 7	8 1	9 0 3

- (2) 地域・お客様への貢献として、下記の施策に取組みました。

- ・営業店での年金相談会（年間１８回開催）、相続相談会（年間４回開催）の実施。
- ・「信用金庫の日」に地域の清掃活動を実施（９８名参加）。
- ・全営業店でロビー展（年間８６回）、「敬老の日」には全営業店で似顔絵展を開催。似顔絵を提供頂いた保育園等の卒園児童へお祝い品を贈呈。
- ・全営業店で「フードドライブ」事業を実施。
- ・「こども金融教室」の実施（年間４回開催：５７名参加）。
- ・「１８歳から“大人に” 成年年齢引き下げで変わる事、変わらない事」セミナーの実施（２０名参加）。
- ・「第２回 あかがね少年野球大会 とうしん杯」の実施（３チーム参加）。
- ・「ユネスコスクール」の支援。
- ・「お遍路マップ（四国八十八ヶ所 東予地区の札所六ヶ寺）」の再作成・配布。

今後も協同組織金融機関として、地域密着型金融への取組みを通じて地域経済の活性化や健全な発展に努めてまいります。

また、新型コロナウイルス感染症拡大・長期化や原材料高騰などにより、先行きの地域経済は不透明感が漂っていることから、中小企業者等への資金円滑化支援はもちろんのこと、持続可能な地域づくりに取組んでまいります。